

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 隊集会プログラム（隊集会実施計画書）に基づき実施される隊集会の流れを理解する。
2. 隊集会の評価について理解する。

指導上のねらい

1. 隊集会実施計画書に基づき隊集会の流れを説明する。
2. 多くの人協力が大切であることに気付かせる。
3. 実施後の評価が次の隊集会を良くすることに繋がることを理解させる。
4. 実習体験を通じて、ビーバー部門の各種動作・合図が正しくできるようにする。
5. スカウト教育法の8つの要素が、ビーバースカウト活動（隊集会）の中でどのように関わっているかを確認させる。

準備品(資材・資料)

- ・ハンドアウト「隊集会実施計画書」（スタッフが作成したもの）
- ・ワークシート「隊集会実施記録書」
- ・日本連盟発行書籍「基本動作・礼式の基準」・・BVS リーダーハンドブック P.28～32 で代用

セッション展開

時間	セッション内容	指導上の留意点・ 準備品・支援
0	1. 導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（10分） 「ビーバー集まれ」の合図と共に、開会式の2列→細長い輪→「みんなで大きな輪をつくろう」で大輪→ビーバーコール→「こんにちは」敬礼 ・ このセッションで何を行うか見通しをもたせる。 ○ 隊集会実施計画書に基づき隊集会の流れを理解するとともに、隊集会は、楽しいだけでなく、以下のことが反映されていることについても理解をする。 ・ 多くの人の協力の必要性 ・ 実施後の評価の重要性 ・ スカウト教育法の8つの要素の関わり ・ ビーバー部門の各種動作・合図	ビーバー隊の基本動作について確認をする p. 28～32 スカウト教育法8つの要素 関連図
10 15	2. 展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（30分） （1）隊集会の流れを理解させる。 ・ 隊集会実施計画書で基本の流れを確認する。 集会が始まる前→集合するまで→開会→活動→記章授与→閉会→集会の後で ＊ここで、実施後の評価が大切であることを伝える。 隊集会実施後には、必ず記録を残し、団へ報告。 ・ 今後の隊集会のレベルアップのため・団から信頼を得、協力を得るため。 （2）隊集会には、多くの人の協力が必要であることに気付かせる。 ・ 隊集会実施計画書を見ながら、確認する。	隊集会実施計画書 隊集会実施記録書

20	<p>・楽しい活動と危険は隣り合わせ、そのリスクを少なくするために成人の支援が重要</p> <p>(3) 隊集会実施計画書を基に、プログラムに活動目標やスカウト教育法の8つの要素がどの様に関わっているか確認させる。</p> <p>・配布した実施計画書に要素を書き加えさせる。</p> <p>個人作業(5分)→班作業(5分)</p> <p>*プログラムは、ただ楽しいだけではなく、8つの要素を網羅させて展開することの重要性を強調する。</p>	<p>隊集会安全計画書 HB p. 62</p> <p>8つの教育法の関連図</p>
40	<p>3. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (5分)</p> <p>(1) 隊集会実施計画書は活動の目標を達成するためのものであり、スカウトの成長のためにはなくてはならない。</p> <p>(2) 活動には、ビーバースカウトの「やくそく」とビーバー隊の「きまり」、ビーバー年代の特性、安全、進歩制度が反映されていなければならない。</p> <p>・成長を促す8要素</p> <p>①夢②想像力③友情④勇気⑤信じる⑥冒険⑦楽しさ⑧感動</p> <p>(3) スカウト運動の基本は野外での活動であり、ビーバースカウト活動でも例外ではない。</p> <p>(4) ビーバーやカブでどれだけいろいろな体験をするかが、ボーイとなって様々な事に積極的に取り組めるスカウトとなる素地をつくる。</p> <p>(5) 臨機応変な対応ができるよう常日頃の研鑽が必要である。</p> <p>・この研修の振り返りをする。(理解できたこと・疑問)</p> <p>*次のステップの研修(プログラムトレーニング)や、各種研修へ積極的に参加するよう話す。</p>	<p>自隊の悩みなど今回の研修で解決できなかったことは各種研修を受けることで解決につながるので積極的な参加を呼びかける。</p>
45		